

読書でビジネス力をアップする(第1回)

実践版「孫子の兵法」で勝つ仕事術

2015.07.01



実践版「孫子の兵法」で勝つ仕事術
福田晃市著
明日香出版社

「孫子の兵法」を仕事に生かす方法を学びます。弱小国を連勝に導いた「戦いのメソッド」は、現代の仕事にも生かれます。トラブルに、顧客対応に、ライバル対策や社内政治にも役立ちます。兵法という通り、本来は戦いの教科書です。しかも、大昔に中国で書かれた書物です。それだけを考えると、なぜ現代のビジネスに生かせるのか分からないかもしれません。

ただ、ビジネスはよく戦争にたとえられるように、戦いそのものです。日々の仕事も、戦いに勝つことを目的にしています。戦いの教科書である「孫子の兵法」を使わない手はありません。

しかし、原文は簡単ではありません。時代背景も違います。そこで、本書の登場です。本書は、大きく2部構成になっています。前半は、超約として、孫子の原文の要点をかいつまんで紹介してくれます。「孫子の兵法」を理解する上で、大変助かります。

続いて、後半では具体的な活用法を紹介してくれます。まず、著者が日々の仕事で起こりがちな事態を想定します。その上で「孫子ならどう対処するか」を孫子の言葉とともに解説するというユニークな試みです。

こうした工夫により、我々読み手は、身近な場面における具体的な活用法をイメージしやすくなっています。そのため「孫子の兵法」を日々のビジネスに頻繁に活用できるようになるはずです。

ひと言で仕事といっても、業種や職種は多岐にわたります。悩む対象も千差万別と思います。それでも、戦う術を知っていれば、活用の機会は色々あるはずです。であるなら、最高の兵法書に学びたいものです。

この際、ビジネスパーソンなら、誰もが知っている「孫子の兵法」を学んでおきたいと考えている人はもちろん、何か新しい仕事のヒントが欲しいと考えている人にも、お勧めします。

貪欲な姿勢が、成長を加速する… 続きを読む